

第75回
関西社会学会大会
プログラム

第1日 2024年5月25日（土）

第2日 2024年5月26日（日）

共催校（開催校）

大和大学

社会学研究会 発行

〔年三回発行 頒価2,500円〕



編集 ソシオロジ編集委員会

〒606-8501 京都市左京区吉田本町 京都大学文学部社会学研究室内

電話 075-753-2751 FAX 075-753-2836

E-mail: editor@soshioroji.jp

URL: <http://www.soshioroji.jp/>

ONLINE ISSN:2188-9406 PRINT ISSN:0584-1380

（ソシオロジ同人入会手続きについて）

入会を希望される方は、ホームページより会員カードをダウンロードのうえ、必要事項をご記入いただきメールに添付にて送信してください。会員カードがダウンロードできない場合は、お電話でお申し込みください。

入会日より5ヶ月経過後、投稿が可能です。詳しくは編集室までお問い合わせください。

（ソシオロジバックナンバーの販売について）

全巻バックナンバーをそろえております。お問合せは、編集室までご連絡をください。

ソシオロジ

支える側・支えられる側の社会学

—難病患者、精神障害者、犯罪・非行経験者、小児科医、
介助者の語りから—

伊藤 智樹 編著 144頁 2,090円

病や障害の支援を物語（語り）の観点から考え、インタ
ビュー・フィールドワークにもとづく5人の社会学者か
らの考察を展開する。



死者の結婚のイメージをめぐるヴァ ナキュラーな信仰実践

鳥居 建己 著 298頁 6,930円

山形県の「ムカサリ絵馬」と、青森県の「花嫁人形」という
死者を供養するための冥福を視覚化する習俗を実証的に調査
・分析し、「人々が出会い、理解し、解釈し、実践する」ヴァ
ナキュラー宗教の視点から考察する。



「モダンガール」の歴史社会学

—国際都市上海の女性誌『玲瓏』を中心に—

呉 桐 著 184頁 3,300円

[上海モダン]の震源地で誕生した女性誌『玲瓏』のなか
の「モダンガール」を分析し、メインストリームだった母
性主義イデオロギー自体の混成的性格と、多層的な勢力間
の相互牽制の可能性を解き明かす。



止まり木としてのゲストハウス

—モビリティと時限的つながりの社会学—

鍋倉 咲希 著 266頁 5,060円

ゲストハウスでの長期間のフィールドワークと、モビリティ
研究の丹念な整理を通じて、旅先で見知らぬ他者と出会い、
かかわることの意味を探る。「流動」の時代のつながりを問
い直す、新しい観光社会学。



起死回生の政治経済学

—日本が蘇える！ドラスティックな政策論集—

前田 益尚 著 180頁 1,980円

2度のがんとアルコール依存症から何度も起死回生を果た
した著者の牙えわたる勘と経験値、独自の考え方を日本の
政治経済の分野にも適用し、少子高齢社会、投票制度、政
治とカネの問題などに奇策で切り込む！



「社会学」としての鶴見俊輔

—「記号の社会学」の構想と意味の多元性—

寺田 征也 著 302頁 6,160円

従来の鶴見俊輔論の整理と、プラグマティズムや大衆文化論
の内在的検討を通じて、「記号の意味の『共通性』と『個別性
』」の視点から大衆の知的生産の理論的・実践的把握を企図し
ていたことを明らかにする。



晃洋書房

〒615-0026 京都市右京区西院北矢掛町7番地

TEL: 075-312-0788
FAX: 075-312-7447

※価格は税込

生ける死者の震災霊性論 災害の不条理のたなかで
金菱 清著 四六判208頁・2,530円

語り継ぐ経験の居場所 排除と構築のオラリティ
関 礼子編 松村正治・青木聡子・高崎優子・丹野清人・廣本由香・飯嶋秀治著
四六判280頁・3,190円

日中韓のゲーム文化論 なぜ、いまへ東アジア・
ゲーム批評なのか
楊駿馳・鄧劍・松本健太郎編 中沢新一・大澤真幸・吉見俊哉・東浩紀ほか著
A5判400頁・4,950円

エスニック空間の社会学
申惠媛著 新大久保の成立・展開に見る地域社会の再編
A5判352頁・4,840円

陸軍将校たちの戦後史
角田 燎著 「陸軍の反省」から「歴史修正主義」への変容
四六判264頁・3,190円

若者と軍隊生活 生還学徒兵のライフストーリー研究
渡辺 祐介著 四六判384頁・4,070円

表現の文化研究 鶴見俊輔・フオークソング運動・大阪万博
粟谷 佳司著 四六判248頁・3,410円

直接行動の想像力 社会運動史研究5
大野光明・小杉亮子・松井隆志編 阿部小涼・酒井隆史ほか／論考(米軍弾薬阻止・
東アジア反日武装戦線)インタビュー(三里塚・神戸・西淀川ほか) A5判168頁・2,530円

学びをみとる エスノメソドロジー・会話分析による授業の分析
五十嵐素子・平本毅・森一平・團康晃・齊藤和貴編 A5判308頁・3,410円

新社会学研究 2023年 第8号
小川博司・檀田美雄・栗田宣義・好井裕明・三浦耕吉郎・関礼子編
特集 飲食の社会学 A5判192頁・2,090円

社会学者のための論文投稿と
査読のアクションリサーチ
檀田美雄・栗田宣義 編著 A5判192頁・2,420円

新曜社
101-0051 東京
千代田区神田
神保町3-9



最新の情報には新曜社
webサイトへ

【タイムテーブル・会場】

5月25日(土)

13:00～	受付開始	E棟3階 コミュニケーションエリア
13:30～16:00	一般研究報告 I	
	1. 理論・学説	E301 (E棟3階)
	2. 階級・階層・社会移動	E401 (E棟4階)
	3. 家族・人口	E404
	4. ジェンダー・セクシュアリティ (1)	E406
	5. 組織・社会運動・集合行動	E407
	6. 社会病理・社会問題・社会福祉・医療	E408
	◆自著を語る～MY FIRST BOOK～ (1)	E403
13:30～16:30	開催校シンポジウム「戦争社会学の可能性と課題 —岩波シリーズ『戦争と社会』を手がかりに—」	E402
16:40～17:30	総会	E403
17:30～19:00	懇親会	Dining Hall 大TAI (E棟1階)

5月26日(日)

9:00～	受付開始	E棟3階
	コミュニケーションエリア	
9:30～12:00	一般研究報告 II	
	7. 文化・知識・コミュニケーション・情報	E301 (E棟3階)
	8. 教育	E401 (E棟4階)
	9. 農山漁村・地域社会・都市	E406
	10. ジェンダー・セクシュアリティ (2)	E407
	11. 社会史・歴史社会学	E408
	◆自著を語る～MY FIRST BOOK～ (2)	E403
	◆若手企画「『状況の社会学』の可能性を探求する」	E404
13:00～16:00	大会シンポジウム「これからの社会、これからの社会学」	
	(1) 「人口減少社会に生きる／生きる社会学」	E403
	(2) 「関西における<社会>の発見と自由な知の創造」	E404

<大会実行委員会（開催校）・研究活動委員会からのお願い>

(1) 一般研究報告（部会口頭報告）・「自著を語る」報告者の方へ

- 報告者は部会開始時間の5分前までに会場に集合して、司会者と打ち合わせをしてください。
- 1報告あたりの報告時間は25分です。
- 会場では配布資料のコピーサービスはできませんので、報告者は50部程度ご用意ください。
- 報告申込の際に情報機器の使用を希望した報告者の会場には、プロジェクタ他の当該機器が備えられています。パソコンはご自身で持参してください。プロジェクタとパソコンを接続するケーブル（HDMI）は備わっています。Macをご利用の場合はアダプタもお持ち下さい。また、学内のWiFiに接続することも可能です。
- 機器や接続には故障や不具合が生じる場合があります。万一に備え、機器なしでも滞りなく発表できるようにご準備ください。機器を利用する方は、部会の始まる10分前に報告教室にお集まりいただき、その教室で機器が正常に作動するかを確認してください。
- 大会奨励賞受賞者は、学会ホームページで発表します。

※ 大会の直前に病気や事故等やむを得ない事情で、発表をキャンセルする場合は、以下の研究活動委員会宛のアドレスにメールするか、あるいは、報告者・司会者向けに別途お知らせする緊急連絡用電話番号に連絡してください。

メールアドレス： 2023kansya〈アットマーク〉gmail.com

(メールを送る場合は、アットマークを@にしてください)

(2) 参加登録について

- 第75回大会では、すべての参加者が事前に参加登録と参加費の支払いをする必要があります。
- 大会参加登録は、下記の第75回大会特設サイトからおこなってください。締切は5月10日（金）17時です。

<https://kansya2024.award-con.com/>

- 大会参加費は、一般（会員・非会員）2000円、学生・院生（会員・非会員）500円、常勤職でない会員500円です。大会参加費はクレジットカード決済／銀行振込による事前支払をお願いいたします。期日までに支払を完了してください。また懇親会費は、一般（会員・非会員）3000円（当日：3000円）、学生・院生（会員・非会員）1500円（当日：2000円）、常勤職でない会員1500円（当日：2000円）です。懇親会のみ当日も受付を行います。懇親会も可能なかぎり事前申込をお願いいたします。
- 銀行振込の場合は、事務局が入金を確認した後に正式登録がなされるため、手続き完了まで少し時間がかかります。クレジットカード決済の場合は、オンライン上の手続きのみで登録が完了します。
- 銀行振込の口座：ゆうちょ銀行
【他行からゆうちょ銀行に振り込む場合】ゆうちょ銀行 四〇八（読み：ヨンゼロハチ）支店
支店コード：408 普通預金 口座番号：8012280 口座名義：カンサイシャカイガツカイ
【ゆうちょ銀行から振り込む場合】四〇八（読み：ヨンゼロハチ）店
振込用の記号-番号：14040-80122801 普通預金 口座名義：カンサイシャカイガツカイ
- 参加登録・参加費支払の詳細は、学会ホームページおよび会員一斉メールでアナウンスします。
- 大会参加費と懇親会費の領収書は大会特設サイトからPDFファイルでダウンロードできます。大会特設サイトは当学会がブランドコンセプト社に委託し構築します。クレジットカード決済の場合、大会参加費はいったんブランドコンセプト社に集約されますが、集計後、当学会に払い戻されます。

クレジットカード決済の場合、領収書にブランドコンセプト社の記載が入りますが、大会参加費と懇親会費の支払先は関西社会学会です。

(3) 報告要旨集について

- 報告要旨集は、学会ホームページまたは大会特設サイトから PDF ファイルをダウンロードしてご覧ください。
※紙媒体の要旨集の配布はおこないません。

(4) 大会期間中の一時保育について

- 今大会では事前エントリーに応募がなかったため、大会期間中の一時保育は実施いたしません。

第1日 5月25日(土)

研究報告 I 5月25日 土曜日午後 13:30~16:00

1. 理論・学説 (E棟E301教室) 司会: 早川洋行 (名古屋学院大学)
1. モノからの社会学Ⅱ
—社会の原型を問う— 荻野昌弘 関西学院大学
 2. 脱存在論的なポストヒューマン論?
—システム理論による「他我」の拡張— 井口暁 中央大学
 3. 知識社会学の歴史的展開
—インプット/アウトプットモデルからの脱却— 下村晃平 立命館大学
 4. アクセル・ホネットと分節 稲葉年計 東京都立大学
 5. G. H. ミードの「Iとme」の概念化を再考する
—「ロボコン」、ニューロン研究およびロボット工学の知見の導入— 鎌田大資 椋山女学園大学
2. 階級・階層・社会移動 (E棟E401教室) 司会: 石田淳 (関西学院大学)
1. 制服は労働者を権威主義的にするか?
—美的労働と社会意識— 太郎丸博 京都大学
 2. 専攻選択からみる若者の転職行動
—韓国の高学歴者に注目して— イハンソル 京都大学
 3. 学校外教育の拡大は誰によって引き起こされたのか
—エリート層の独占か、マス層の拡大か— 眞田英毅 同志社大学
 4. メカニズムへの計量的アプローチ
—格差、因果、介入— 藤原翔 東京大学
3. 家族・人口 (E棟E404教室) 司会: 大和礼子 (関西大学)
1. 乳児を抱える父親の育児を支える取り組みの一考察
—ケアリング・マスキュリニティに着目して— 岡いくよ 畿央大学
 2. 高校生の家族に関する意識が進学に与える影響に関する分析
—家族主義の多元性に着目して— 増井恵理子 滋賀大学
 3. 中国における「女権主義者」と彼女たちの定位家族
—若い「女権主義者」への聞き取り調査を中心に— 連輝 神戸大学
 4. 新聞記事から見る台湾における共同親権 周典芳 台湾慈济大学
 5. 母親の正規雇用継続の規定要因 上野志保 大阪公立大学

4. ジェンダー・セクシュアリティ（1）（E棟E406教室） 司会：山本めゆ（立命館大学）
1. 既婚ゲイ／バイ男性が持つ欲望の共有
—SNSを入り口として— 白井望人 神戸大学
 2. 「ゲイバー」をめぐる言説の変遷
—集合的自己表象とカルチャーの芽生え— 鹿野由行 甲南大学
 3. 災害と性的マイノリティの困難
—「令和6年能登半島地震」以前・以降— 岩本健良 金沢大学
 4. VR空間において女性アバターを使用する男性の多様性
—アバター選択動機のクラスタリングに基づく検討— 林孝太郎 滋賀大学
5. 組織・社会運動・集合行動（E棟E407教室） 司会：李洪章（神戸学院大学）
1. 関東大震災時の朝鮮人虐殺を記憶する運動
—東京都墨田区の「ほうせんか」を事例に— 韓光勳 大阪公立大学
 2. アーティストによる制度批判の抗議活動
—市民運動としての国際交流フェスティバルを中心に— 笹島秀晃 大阪公立大学
 3. 多文化共生社会の実現の可能性
—市民運動としての国際交流フェスティバルを中心に— 呉知恩 大阪樟蔭女子大学
 4. 中国高齢者の生活現状とサポート・ネットワークに関する考察
—中国四川省における被災高齢者のインタビューから— 冷芸 同志社大学
6. 社会病理・社会問題・社会福祉・医療（E棟E408教室） 司会：濱西栄司（ノートルダム清心女子大学）
1. 更生の場としての生殖家族
—元受刑者の女性の語りに着目して— 竹松未結希 立命館大学
 2. 「犯罪をした人の立ち直りへの協力意向」についての検討 竹中祐二 摂南大学
 3. 市民にとっての「安全」とは何か
—広島市の取り組みから考える— 狩谷あゆみ 広島修道大学
 4. 病の社会的地位について
—希少疾患、精神疾患、論争中の病を例として— ○山中 浩司 大阪大学
野島那津子 静岡文化芸術大学
樋口麻里 北海道大学
 5. 精神科<造形教室>における表現と、他者との交流 藤澤三佳 京都芸術大学
- ◆自著を語る～MY FIRST BOOK～（1）（E棟E403教室） 司会：高谷幸（東京大学）
1. 『就活の社会学——大学生と「やりたいこと」』（晃洋書房、2023年）
妹尾麻美 追手門学院大学
 2. 『男性育休の社会学』（さいはて社、2023年）
中里英樹 甲南大学
 3. 『髪をもたない女性たちの生活世界——その「生きづらさ」と「対処戦略」』（生活書院、2023年）
吉村さやか 日本大学

◆開催校シンポジウム

(E棟E402教室)

「戦争社会学の可能性と課題—岩波シリーズ『戦争と社会』を手掛かりに—」

司会：蘭信三（大和大学）

加藤久子（大和大学）

- | | | |
|---|------|----------|
| 1. <記憶>と<追悼>の現在地
—戦争研究の重層性がひらくもの— | 山本昭宏 | 神戸市外国語大学 |
| 2. 戦時動員から「戦後処理」へ
—越境する「銃後」と「国民国家」再編/ジェンダー— | 長志珠絵 | 神戸大学 |
| 3. 「自衛隊と社会」論・論—戦後日本社会の特殊性と
ポストモダンミリタリー論のはざま— | 津田壮章 | 京都大学 |
| 4. 戦争と平和をめぐる言説・表象の空間
—「自衛隊に関する意識調査」に基づく計量分析— | 吉田純 | 京都大学 |

討論者 野上元（早稲田大学）
石原俊（明治学院大学）
西村明（東京大学）
岩崎稔（大和大学）
福間良明（立命館大学）
一ノ瀬俊也（埼玉大学）*オンライン参加

◆総会 16:40~17:30 (E棟E403教室)

◆懇親会 17:30~19:00 (Dining Hall 大TAI 【E棟1階】)

第2日 5月26日(日)

研究報告Ⅱ 5月26日 日曜日午前 9:30~12:00

7. 文化・知識・コミュニケーション・情報 (E棟E301教室) 司会：阿部潔 (関西学院大学)
1. 演劇に関わり続けるためのいくつかのプロセス
—京都小劇場から見る「芸術など」の生産と価値の表明— 柴田惇朗 立命館大学
 2. テレビ局と芸能事務所の依存構造のネットワーク分析
—ジャニーズ事件の背景を探る— 金光淳 京都産業大学
 3. その問題、心理の専門家に相談しますか？ その10
—Yahoo!知恵袋における「友人関係の悩み」カテゴリーの質問の分析—
○澤田戒 甲南大学
福井義一 甲南大学
 4. 「HSP自認者の自己語り」に関する考察
—インタビュー調査を踏まえて— 津田翔太郎 神戸大学
 5. 報道とジャーナリズム教育の残心
—問題発見と解決を繰り返す健全な依存症の涵養— 前田益尚 近畿大学
8. 教育 (E棟E401教室) 司会：濱貴子 (関西大学)
1. 性教育の「教えにくさ」を問う
—性教育実践者たちのインタビュー調査から— 前田絢子 京都府立医科大学
 2. 条件不利地域における「総合的な探究の時間」の制度的位置
—地方創生のアクターとしての高校— 野中康生 神戸大学
 3. 日本における英検の広がり
—2002年までの英検を受けさせる教師の意図— 孫工季也 京都大学
 4. 外国ルーツの子どもへの支援はいかなる意味で(不)必要とされるのか
—小中学校の教師の語りから— 嶺岸匠 神戸大学
 5. 小学校のなかの児童養護施設の子どもたち 宇田智佳 大阪大学
9. 農山漁村・地域社会・都市 (E棟E406教室) 司会：藤井和佐 (摂南大学)
1. 地方創生時代の外来型開発
—兵庫県淡路市における廃校活用の事例から— 社領雅俊 関西学院大学
 2. アートは地域の記憶といかに関わるのか
—香川県直島を事例として— 宮本結佳 滋賀大学
 3. 高齢者ケアの共同体的解決可能性の探究
—日本における地域住民の高齢者支援活動の事例研究— 金珠賢 忠南国立大学
 4. 国勢調査を用いた同和対策事業対象地域の実態把握
—A市における2000・2010・2020年のデータから— 内田龍史 関西大学

10. ジェンダー・セクシュアリティ（2）（E棟E407教室） 司会：織田暁子（仁愛大学）
1. 企業の人事評価制度が育児期女性の就業継続に与える影響
—仕事人としての女性の働き方と専門性から見る— 郭文静 同志社大学
 2. 1980年代以降の日本における「Working Woman」のイメージの変遷
—実用情報誌『日経WOMAN』から— 李澤睿 神戸大学
 3. 在日朝鮮人女性の交差性のなかの「楽しさ」をめぐる考察
—朝鮮学校に子どもを通わせる母親の実践に着目して— 金汝卿 同志社大学
 4. 近代以降における女性同士の親密な関係の文化的表象
—1970～80年代の「お姉さま」像の分析から— 上村太郎 京都大学
11. 社会史・歴史社会学（E棟E408教室） 司会：岩井八郎（摂南大学）
1. 原爆記念日の『中国新聞』社説の計量テキスト分析 渡壁晃 関西学院大学
 2. 「役に立つ自衛隊」という言説の当事者認識
—自衛隊退職者が書いた書籍の分析を通じて— 津田壮章 京都大学
 3. 大震災後の日本社会と「子どもの戦争の記憶」
—『火垂るの墓』と『少年H』の語りから— 小酒奈穂子 立命館大学
 4. 1950～60年代における集団求人と「商店街の近代化」
—雇用問題の改善と困難に注目して— 八木寛之 関西国際大学
 5. 国鉄女性労働者にみる1940～50年代の女性労働
—国鉄女性労働者調査の分析— 渡邊勉 関西学院大学
- ◆自著を語る～MY FIRST BOOK～（2）（E棟E403教室） 司会：永田夏来（兵庫教育大学）
1. 『窓の環境史——近代日本の公衆衛生からみる住まいと自然のポリティクス』（青土社、2022年）
西川純司 神戸松蔭女子学院大学
 2. 『円谷英二の卓越化——特撮の社会学』（ナカニシヤ出版、2023年）
真鍋公希 中京大学
 3. 『神輿と闘争の民俗学——浅草・三社祭のエスノグラフィー』（七月社、2023年）
三隅貴史 関西学院大学
- ◆若手企画「『状況の社会学』の可能性を探求する」（E棟E404教室） 企画者：若狭優（日本大学）
1. 「状況」を探求するということ
—「フレーム分析」とはいかなるものか— 若狭優 日本大学
 2. デュルケムの構成的実践概念にみる相互行為研究の萌芽
—アン・ローズズの社会学史研究をもとに— 粕谷圭佑 奈良教育大学
 3. 状況における個人の印象形成
—アクションにおける感情管理の視点から— 木村雅史 作新学院大学
 4. 「正義」の社会（学）理論とエスノメソドロジー
—アン・ローズズの人種差別研究に注目して— 成田まお 神戸大学

◆大会シンポジウム：これからの社会、これからの社会学

(1)「人口減少社会に生きる／生きる社会学」(E棟E403教室)

司会：大山小夜（金城学院大学）

- | | | |
|---|-------|------|
| 1. 歴史的・世界的視野からみた日本家族人口の現在地 | 平井晶子 | 神戸大学 |
| 2. 持続可能な家族政策・労働政策としての育児休業 | 中里英樹 | 甲南大学 |
| 3. 仕事と休暇
—フィンランドの高齢者ケア制度にみる労働の持続可能性— | 高橋絵里香 | 千葉大学 |

討論者 筒井淳也（立命館大学）

(2)「関西における〈社会〉の発見と自由な知の創造」(E棟E404教室)

司会：梅村麦生（神戸大学）

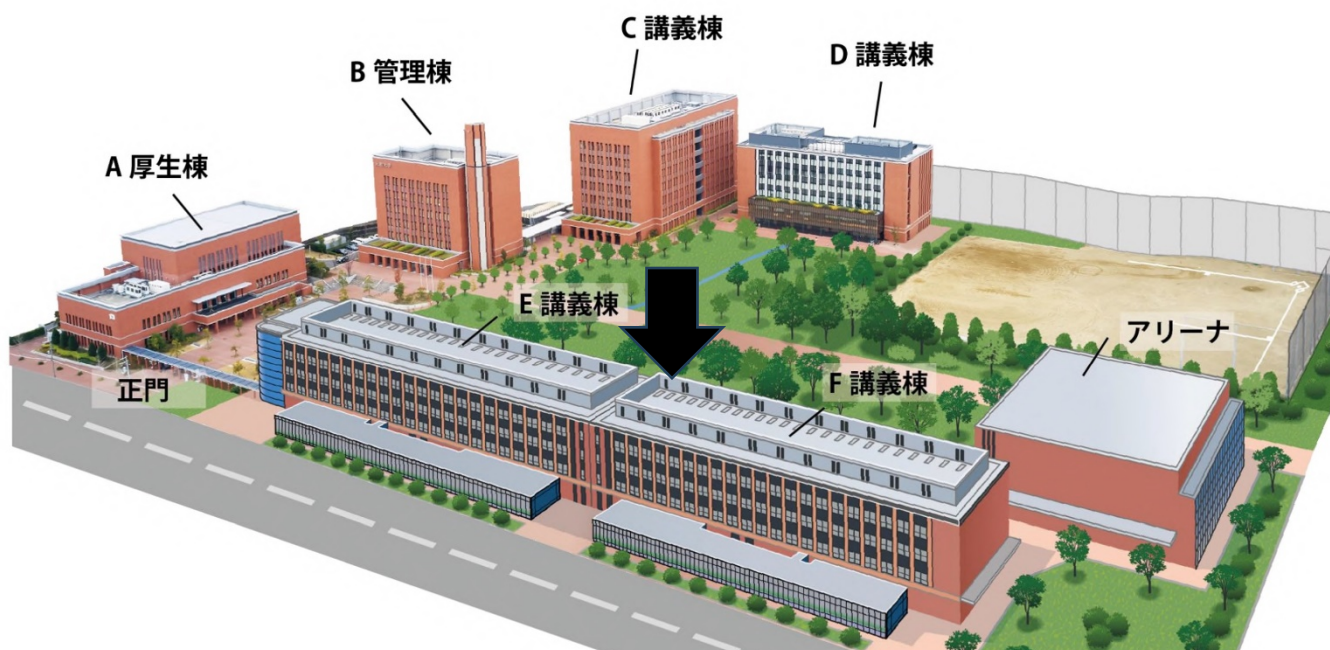
- | | | |
|---|-------|--------|
| 1. 拡大する社会から収縮する社会へ
—関西地域と知のあり方— | 荻野昌弘 | 関西学院大学 |
| 2. 「夜明けの街」のエスノグラフィ
—阪神・淡路大震災後の公共空間をめぐる想像力の再検討— | 稲津秀樹 | 鳥取大学 |
| 3. 大阪府内自治体における地域雇用政策の展開
—生活困窮者自立支援事業に注目して— | 長松奈美江 | 関西学院大学 |
| 4. 地域文化の創造とはなにか
—作田啓一の価値理論による豊岡の事例分析— | 岡崎宏樹 | 神戸学院大学 |

討論者 宇城輝人（関西大学）
阿部真大（甲南大学）

<会場案内：大和大学>

(1) キャンパスマップ

- 会場は正門右手のE講義棟です。受付・報告会場へは、E講義棟とF講義棟の中央部分（以下の矢印の箇所）にある玄関からお入りいただき、エレベータ・階段をご利用ください（正門右手すぐの食堂のエントランスからE棟へ入り、校舎上階へ行くことはできません）。
- 懇親会会場の1F食堂「Dining Hal～大～TAI」は、正門すぐ右手のエントランスからお入りください。



(2) 宿泊について

- 大会実行委員会から宿泊斡旋はいたしませんので、会員各自でご予約してください。

(3) 大会期間中の昼食について

- 学内の食堂は営業しておりますが、1メニューで提供数も少なくなります。近隣の飲食店の利用や、ご持参いただくこともご検討ください。カフェは休業となります
- キャンパスに隣接する「吹田グリーンプレイス」に、スーパー（阪急オアシス）、飲食店街（8店舗）、ベーカリー（ドンク）、タリーズコーヒーがあります。

<https://www.suita-greenplace.com/>

- また、グリーンプレイスの東側に中華料理（桃苑）、南側にコンビニ（ローソン）があります。

(4) 交通アクセス

- JR吹田駅下車徒歩約7分、阪急吹田駅下車徒歩約10分
- 大阪府吹田市片山町2-5-1

<https://www.yamato-u.ac.jp/about/access/>

JR吹田駅からのアクセス方法



① JR吹田駅東出口へ



東出口から改札方面へ。大阪方面からは先頭車両、京都方面からは最後尾車両に乗車すると便利です。

東口改札を左折



東口改札を出てすぐ左折してください。

② 地下道を直進



左手にコンビニ、パン屋さん等が並ぶ地下道を直進します。

③ 地下道を出て直進



地下道を出た歩道を直進。左手にアサヒビール工場があります。

④ 片山町2丁目東交差点を左折



片山町2丁目東交差点を左折。左折するとすぐ右手にコンビニ（ローソン）が見えてきます。

⑤ 横断歩道をコンビニ側へ



次の横断歩道をコンビニ（ローソン）側へ渡ると、キャンパスは目前です。

阪急吹田駅からのアクセス方法



① 梅田方面からの場合



西口改札を出てから、すぐ左手にある地下道へ。阪急バスのりば案内がある階段を上がり東口へ。

千里方面からの場合



東口改札から出てください。

② 東口ロータリーへ



東口の小さなロータリーを通り、タイムズ駐車場所が見える方向へ。駐車場を左手に見ながら直進。

③ 西の庄町交差点を直進



しばらくすると西の庄町交差点。横断歩道を渡り、直進します。右手にはアサヒビール吹田工場が見えます。

④ 片山神社前を直進



府道（大阪高槻京都線）に沿ってアサヒビール迎賓館や片山神社を左手に見ながら直進。

⑤ コンビニを左折



コンビニ（ローソン）のある交差点を左折。キャンパスがすぐ目の前に見えてきます。

(5) 会場配置図

E棟講義棟(社会学部棟)



- ◆ 受付はE講義棟3階エレベータ・ホール付近に設置します。会員控室はその奥のE棟3階コミュニケーションエリアです。書籍販売コーナーもE棟3階コミュニケーションエリアです。
- ◆ 25日(土曜日)理事会の会場はE棟3階302教室です。
- ◆ 25日(土曜日)開催校シンポジウム打ち合わせ会場はE棟304教室です。
- ◆ 26日(日曜日)大会シンポジウム打ち合わせ会場はE棟303・304教室です。
- ◆ 喫煙は所定の場所(A厚生棟の奥:西側)にてお願いします。